

No.527(一九九三年一月一・二日合併号)から

No.559(一九九三年一月二日)まで

No.527(一九九三年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇ 社会主義の思想を堅持し、改憲を阻止する岩井章  
流れに抗してたじろがず坂牛哲郎

田辺委員長の退陣を迫るマスコミ — 社会党の存亡をかけた一九九三年に—  
社会党新体制をつくる — キューバの社会主義とわれわれの課題—  
矛盾は地域・職場に転嫁—総評センター—解散と地域労働運動の展望  
戦略展望を確立し、気迫をもって闘う — 国労闘争団の現状と課題—  
読者からのおたより

好評発売中『紙ひとえの選択— 国労鹿児島一万分の一の記録』

No.528(一九九三年一月二日)

巻頭言◇ 時流は時勢を変えうるか 山本和夫

— 社会党の絶好の出番到来—  
改憲路線との明確な対決こそ党再建のみち — 山花新委員長への期待と注文—  
「自らの権利は自らの立ち上がりから」 — 郵政人事院公平審闘争の位置—  
修正判定を勝ち取る！ — 人事院公平審大阪生野局第一次処分事実—  
連合「春闘」では生活は守れない — 九三春闘をめぐる連合、日経連の見解—  
統一ドイツのナシヨナリズムとグローバリズム—現在、「東独」事情—  
今、何をどのように学ぶのか？

No.529(一九九三年二月一日)

◇巻頭言◇ 「改憲包囲網を打ち破る — 山花社会党執行部の課題—  
政界再編の見取図

書記長人事で派閥の画策と混乱 — 山花指名で政構研、事実上分解—  
大衆闘争路線を取り戻そう — 社会党中央を憂える末端党员—  
「憲法改悪包囲網」打破への道 — 社会党「護憲派」の進路—  
〈投稿〉 社会党信頼回復への道

本当の情勢をつかみ、  
何をすべきか見つけよう！—教育労働者の皆さんへ—  
悪人はいない、でもイザという時  
善人が悪人に — 漱石の『こころ』について—

No.530(一九九三年二月一日)

灰原 茂雄

◇巻頭言◇ 反合理化闘争!

赤字国債発行は危険な増税策―赤松書記長は民主的になれ―

◇資料と解説◇「憲法九条を守る」三県共同決議案について

資料1 憲法九条改悪を許さない…(三県共同決議案)

資料2 社会党臨時大会「大会宣言」

四・二八闘争と郵政職場の現状

都清掃の「分割・区移管」反対!

―反首切りのかまえを確立し、国鉄闘争と闘う―

社会主義世界体制の崩壊で階級対立は鮮明に ―九三春闘をめぐる情勢と課題①

読者からのおたより

No.531(一九九三年二月二一日)

◇巻頭言◇ 歴史を担うのは労働者階級

近江谷 左馬之介

―マルクス没後百年―

基本政策 “改悪” の動き急

―社会党の解党を策す「水曜会」―

バブル崩壊の真実は「証券・金融恐慌」

―大量失業時代まっただなかの九三春闘②

激流の中にみずからおき、国鉄闘争勝利へ

国連中心主義の落とし穴―平和憲法は国際情勢に矛盾しているのか

◇読者からのおたより◇司令部をつくる

No.532(一九九三年三月一日)

◇巻頭言◇ 労研センターが三月二七日に十周年シンポジウム

宮坂 要

―労働運動再生に全力を尽くす―

歴史をくり返させてはならない

―大政翼賛会と「民間政治臨調」―

暗雲漂う「改憲」動向と独占資本の狙い

差別・選別の教育

―偏差値問題をめぐって、学習塾の立場から―

私の読書日記②名作、テレビ、そして社会党

総評センター解散と地域労働運動

資料県評センターの解散と

その後のあり方の現状

理念なき現実主義は墮落

存在感ない日本新党なのに―新潟からの報告

読者からのおたより

上 野健一

No.533(一九九三年三月一日)

◇巻頭言◇ 労研センター

宮坂 要(労研センター事務局長)

「一〇周年記念シンポジウム」にご参加を  
右翼的労組の党介入「選別支持」を許すな!

— 山花・赤松ラインは主体性を失い分解か  
生活をとらえ、「下からの春闘づくり」

◇投稿◇ 賃上げで景気回復は正しいか — 九三春闘と賃上げ論に関して —

階級対立の激化は必至 — 九三春闘は労資関係の分岐点③ —

郵政労使「共同作業」の「郵便時短」妥結 — 病弱組合員の視点から時短を考える —  
読者からのおたより

No.534(一九九三年三月二一日)

◇巻頭言◇ “解党右派”は新党めざし新派閥結成

— 護憲派の総結集による司令部づくりを!

◇交響歌「第一九九二—九三番」◇

「請負さん?」の運命

失われる指導部への信頼 — 歴史的現在と問われる私たちの生きざま

金丸逮捕で「小沢新党」窮地に! — 野党部幹部へも疑惑 —

壁はなくなつたけど

暗雲漂う「改憲」動向と独占資本の狙い②

資料改憲阻止、護憲の党を守ろう(社会主義協会)

読者からのおたより

労研センター場所・国労会館8階ホール 記念シンポジウムにご参加を

三月二七日、午後一時より

No.535(一九九三年四月一日)

◇巻頭言◇ 自衛隊合憲論へ動き急

連合の意識調査と最近の特徴

「党中党」へ進む「改革議員連合」づくり — 水曜会、創る会で党解体を画策 —

資料1 「社会党改革議員連合」結成趣意書

資料2 「作業課題と日程」(改革議連準備会)

山岸「連合」の社会党への介入 — 選別すいせんは憲法の破壊 —

資料3 候補者の「選別」は政党への介入(山花委員長へのアピール)

残った九条と消された第十三・十六条 — 新憲法制定の舞台裏を洗ってみれば —

資料4 憲法「改正」…を阻止する決議(国労4東京)

沈滞と無気力と不誠実 — 末期症状呈した社会党都本部大会 —

読者からのおたより

労研センター場所・国労会館8階ホール

記念シンポジウムにご参加を 三月二七日、午後一時より

No.536(一九九三年四月一日)

◇巻頭言◇ 工場閉鎖・指名解雇・強制配転に抗す

国労組織の強化・拡大で

真の勝利の展望を切り開こう①

基本政策をめぐり論議 — 社会党神奈川県本大会から —

「議員連合」に反発、新派閥次々 — 参加者も「反田辺・山岸」で予想より減少 —

偽諦だらけの小選挙区導入論

投稿選別推せんは絶対許せない

中労委ついに結審 — 京都コンピュータ学院解雇撤回闘争 —

社会党はこれでいいのか、「無名」黨員の会 — 現場からの運動 —

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.537(一九九三年四月二一日)

◇巻頭言◇ 福岡地裁、三井鉱山の責任認める — 三池CO闘争勝利の判決 —

特集・社会党のゆくえ、そして国鉄闘争

山花執行部の責任は重い — 選別支持と「党中党」を放置、求心力失う

資料 社会党改革議員連合(アピール案)

力を合わせ新しい政党を政権を創ろう

◇東京・小平市からの報告◇解党の危機せまる社会党東京都本部

日本労働運動前進に新たな息吹き… — 労研センター十周年記念総会の大成功 —

憲法とはなにか

— 暗雲津う「改憲」動向と独占資本の狙い

組織拡大が全国的活動の集中心に — 国労第十二回全国岳動家集会から！ —

国鉄闘争が日本労働運動のゆくえを決める — 国労組織の拡大で勝利の展望を②

読者からのおたより

No.538(一九九三年五月二一日合併号)

「護憲の党」を内部から解体めざす「議員連合」

— 山花執行部バラバラ、山岸連合派突出！ —

資料1 労働組合は本来の姿に立ち戻れ(党建協、九三・三・二六)

資料2 社会党は国民の声に耳を貸せ(党建協、九三・三二一六)

総評センター解散後の地域組織

静岡中部地区労結成 — 静岡県内の地域共闘前進めざす —

吹き荒れる合理化、進む人減らし — NTT二〇万人体制合理化を斬る①

◇投稿◇コメ自化をゴリ押しするアメリカ

三池CO裁判闘争勝利 — 福岡地裁、会社に責任と判決 —

地域おこしのマインド(心)を

— 三・七く九北海道・軍縮名寄フォーラム

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.539(一九九三年五月二一日)

◇巻頭言◇「連用制」で妥協はかる田辺・山岸派

―社会党の解体・保守新党への策謀進展  
職場からの闘い再構築、二つの課題

―NTT二十万人体制合理化に抗して②―

社会党基本政策について ―各単産の政治方針討議のために―  
林さんらの三人の生命を奪った

―JR三・三〇事故の徹底追及を―

天皇来沖、異常警備で

大衆運動の圧殺と「思想チェック」

資料植樹祭における天皇の政治利用に反対するアピール(那覇市職労)  
社会党大敗に終わった仏総選挙

―選挙結果と左翼の今後①―

読者からのおたより

No.540(一九九三年六月一日)

◇巻頭言◇ 憲法九案改悪阻止、社会党解体を許すな

「九三年宣言」草案に「合憲論」―綱領的文書にならない願望の羅列―

資料1 九三宣言(仮称)草案(全文書上)

資料2 連合指導部にきざんとした対応を(香川)

資料3 「軍備国防」は「軍備亡国」である(沖繩)

資料4 基本政策転換操作は党の自殺行為(宮崎)

資料5 党内民主主義ふまえ決定を(佐賀)

仏社会党敗北の原因と将来―社会党大敗に終わった仏総選挙②―

『紙ひとえの選択』出版一周年の集い

読者からのおたより

No.541(一九九三年六月一日)

◇巻頭言◇ 話し合いの場をつくる

山岸・田辺派のねらいは大きくはずれぬ ―連合政治路線、自衛隊合憲ならず―

資料1 自衛権内の最小限自衛力は許容(「九三宣言」案)

資料2 自衛隊の憲法上の位置づけに「区切り」(連合「国の基本政策」について)

資料3 「安全保障基本法」制定めざす(連合「国の基本政策」への態度)

資料4 従来の政党支持のあり方と見直し(連合「労組と政党との関係について」)

資料5 連合の総選挙対策について

資料6 「連合の会」の扱いについて

語り継ごう、平和の心

自治労よ、お前もか ―自衛隊合憲に踏み切る「政治方針の具体化」―

JR株上場に異議あり

―史上最大の国有財産詐欺事件を追及する

No.542(一九九三年六月二一日)

◇巻頭言◇ 六・三「全国社会党員集会」大成功

改憲阻止統一闘争のために

— 帝国主義者の甘言にまどわされるな —

小選挙区制になれば社会党没落!?

— 憲法を守る議席危うし —

政界再編成と憲法状況①

◇投稿◇ 都高教・本部委員会議長に選出される

社会党へのチャンスピンチにさせた者

「兵庫護憲平和運動」発足へ

— 憲法集会、憲法セミナーも連続開催 —

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.543(一九九三年七月一日)

巻頭言◇ 都議選、衆院選で護憲候補の当選を

皇太子と雅子の結婚 — 天皇制の矛盾が小和田雅子に押し寄せた

天皇制は恐ろしい制度 — わが青春と天皇制 —

自衛隊は小さくなくても違憲

— 山花「条件付」合憲論に反対する —

改憲論議 — その特徴と動向 — 政界再編成と憲法状況② —

◇北海道・国労闘争団の仲間から◇

国鉄闘争勝利、護憲にまい進

資料未来に生きる子どもたちのために

『紙ひとえの選択』祝う集い大成功

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.544(一九九三年七月一日)

◇巻頭言◇ 社会・都議選の惨敗は政治姿勢が原因

新生党(竹下・全丸沢)と

「野合」する社会党 — 山岸・田辺派にひきずられる山花執行部

◇投稿◇ 我々は社会党員たり続けうるか?

闘う日教祖の継承路線「修正案」に熱き支持

— 奈良教組、「連合」に近い方針案に不安

「六・三」全国社会党員集会報告①

主催者あいさつ

自ら首をしめる愚を犯すなかれ①

記念講演「護憲の旗」を高く掲げてすすめ

広島・長崎から広島・原爆慰霊碑と九条

和田静夫副委員長私の意見は多数派だ

No.545(一九九三年七月二一日)

◇巻頭言◇ 社会党は自滅するな

解党攻撃・翼賛体制づくりに総反撃を

―日教組大会をふりかえりつつ―

〃二度と議長など〃の面白い経験

―都高教定期大会、新米議長奮闘記―

国鉄闘争音楽カセットテープ完成

―〃レールのない道を〃―

組合員の実態に依拠し、奮闘しよう

―職場の悲鳴とどかぬ、全通大会方針―

山花委員長、新生党と組むなんて!

資料憲法を守る社会党員に熱いご支持を(六・三集会アピール)

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.546(一九九三年八月一日)

◇巻頭言◇ 山花・赤松執行部は退陣せよ!

改憲勢力が四〇二議席にも

―連合、社会党の動揺で総保守拡大―

資料1 選別された社会党系候補一覧

資料2 衆院選についての連合の声明

資料3 直ちに護憲の社会党の再建を

(護憲の社会党を再生する全国ネットワーク)

◇座談会◇ 選挙結果と日本の将来①

新・旧自民党とのゆ着に強い批判

自前の社会党をつくる努力を

―「沈みはじめた船」とわれわれの課題―

天皇制、自衛隊、そして社会党

―「憲法を活かす新潟の会」交流記―

職場組合員の意識はまだまだ健全

―全通全国大会に異議あり―

読者からのおたより

No.547(一九九三年八月一一・二一日)

◇巻頭言◇ 護憲の新戦略をつくる

このままでは社会党は消滅

社会党への最後の期待

樋口 陽一

—社会党は連立政権に加わるな—

「並立制」選挙で社会党の激減は必至

資料1 小選挙区並立制は自殺行為(党建協・九三・七・二六)

憲法九条を生活、運動へ

資料2 山花委員長は国民の声に応えよ

岡崎さん、兵庫の仲間がんばれ

資料3 兵庫・岡崎、旭堂氏に離党勧告!?

「NTTの二の舞避けよ」論だけではないのか—JR株上場問題とマスコミ—

◇投稿「通信」第五四二号投稿への疑問◇

「都高教・本部委員会議長に選出される」について

「六・三」全国社会党員集会報告②

国際文化人からのメッセージ 国弘 正雄/反原発は社会党への思い 渋谷 澄夫/

山も松も枯れかけてはいないか 関 晴正/

「がんばってこい」と多くの激励 春川 弘/

「護憲」の社会党でなくなったとき 小林 義昭/

今まさに社会党の正念場 早川 芳夫/党員一人ひとり決起しよう 西村 正吾/

衆院選では護憲候補擁立へ 加納 克己/国鉄闘争勝利へ入党者 神宮 義秋/

「黄犬契約書」がまかり通る 園田 裕子/

No.548(一九九三年九月一日)

◇巻頭言◇ 小選挙区並立制を粉砕し、

党の再生に今一度熱情を

社会党の再建は新委員長で—「並立制」阻止に総決起しよう—

早急に闘いの統一指導部を—全戦線での左派良心派の総決起を訴える

資料1 弁解、その場限りの言い訳は通用せず(岩垂 寿喜男)

資料2 社会党は解体の道進むのか(高島 通敏)

資料3 「再編」促す暫定的内閣(亀井 正夫)

資料4 社会党は護憲勢力排除を(日経連タイムス)

資料5 「非自民」八党派合意事項(全文)

次代に伝え継ぐ、ヒロシマの願い

「チャレンジセイフティー」ってなあに?

読者からのおたより

パンフ紹介社会党がなくなる

編集部だより

No.549(一九九三年九月一日)

◇巻頭言◇ 政党助成法は大政異賛会以上の愚拳  
いよいよ委員長選挙開始

―「小選挙区並立制」を争点に 護憲派は総決起のとき―

資料1 党運動の原点に立ち返れ (荒尾総支部)

資料2 あなたはドン・キホーテに

似ていませんか (社会党鴨川総支部・T)

資料3 「悪魔と手を結ぶ山花執行部」 (社会党東大阪支部有志)

資料4 小選挙区制導入に反対する決議

(社会党第五七回大会)

資料5 代議士懇談会における中間集約

資料6 社会党第六〇回定期大会代議員割当(案)

資料7 小選挙区並立制に反対する決議 (千葉高教組)

資料8 「非自民・非共産の連立政権」に反対(「無名」黨員の会)

小沢一郎夫人は「創価学会」会員か!?

―一・一コンビで次は小選挙区並立制と増税

国鉄闘争の中で生まれた歌を―未来につなぐために 江崎 文雄―

国鉄闘争は前進、崩れなければ勝てる ―国労第五三回大会報告―

No.550(一九九三年九月二一日)

巻頭言◇ 社会党よ、民主主義はどこへ行つた

資料1 当面する情勢と課題(党建協)

資料2 カプセルいりの猛毒を吐き出す (党建協の緊急提言)

資料3 小選挙区制阻止で国民的大運動を (党建協のアピール)

資料4 「全国ネットワーク」当面の組織と行動

資料5 全国ネットワーク 「九・四」集会行動提起

資料6 小選挙区制反対「国民集会」のよびかけ

労働組合本来の姿はどこへ?

―政治論議にうつつをぬかす労組大会―

資本主義の本質を見失うな―円高のしわ寄せで、首切り―

中国へ行ってみよう

―国際労研中国交流団に参加して―

読者からのおたより

No.551(一九九三年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 社会党委員長選挙が示したもの  
社会党委員長選挙の一舞台裏

資料1 久保・村山両氏の話し合いの基本

資料2 要請(岩垂寿喜男)

資料3 共同(村山・久保) コメント

◇国労北海道闘争団交流合宿の報告◇ 「もつと交流、もつと団結、もつと闘いを」  
中長期の展望と方針、目標設定

労働者の力に自信持てない指導部 ―全通大会を傍聴して―  
読者からのおたより

「保守二党制」、それとも「大政翼賛会」 ―総選挙後の政治動向―  
編集部からのおたより

No.552(一九九三年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 円高、「リストラ」、凶作と働く者の生活  
民主主義の根幹を否定する「並立制」

総選挙総括も行わず、代議員も独断決定―社会党兵庫県の非民主的な党運営―  
党の危機(分裂)を深めた解党派―社会党再生はたかいたるもの―

資料1 一般党務報告に関する緊急動議

資料2 政治改革に関する決議案

資料3 党の再生と連立時代推進のための決議

地区労解散後の地域労働運動に焦点―道北で岩井章氏招きシンポジウム―

護憲の社会党を再生するシンポジウム①

司会者あいさつ 護憲の党の再生を (平岡幸雄)

来賓あいさつ 護るべきは戦後民主主義 (國弘正雄)

コーディネーターあいさつ 議会制民主主義の根幹の問題 (岩垂寿喜男)

読者からのおたより

十・一四国民集会に参加しよう

No.553(一九九三年一〇月二日)

◇巻頭言◇ 連合は労働組合か  
自治労大会と連合の政治方針

歴史的激動期、生き方問われる社会党 ―党大会を傍聴して永田悦子―

不安と戸惑いの中、並立制が大会決定に ―強引な大会運営めだった社会党大会―

護憲の社会党を再生するシンポジウム②細川政権に幻想を持つな 浅井基文

価値観を実現させる政治を福島瑞穂

青酸カリを飲まされた社会党伊藤誠

読者からのおたより

国鉄闘争―秋から冬の行動計画

No.554(一九九三年十一月一日)

◇巻頭言◇ ベルリンで見たこと、思ったこと

近江谷 左馬之介

「並立制」いよいよ委員会審議入り ―国会通過にいくつかの暗雲―

今もって組合員には説明なし ―NTT一万人希望退職の背景と本質―

小選挙区制に反対し、護憲の党の再生をめざす

資料1 小選挙区並立制に反対する決議(東武交通労組)

資料2 並立制に反対し、民主主義を守るアピール(自治労鹿児島職社会党員協)

読者からのおたより

No.555(一九九三年十一月一日)

◇巻頭言◇ ジャーナリズムは初心にもどれ

村山社会党執行部、早くも剣が峰二 ―国会議員は姿勢をただせ―

資料1 一般党務報告付属資料(社会党大会)

政治に舞い上がり、職場は空白 ―第三回「連合」大会の報告―

社会党を守ることと労働者の未来 ―一〇・一四日比谷集会に参加して―

◇新刊紹介◇「憲法ひょうご」第二号発刊

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.556(一九九三年十一月二日)

◇巻頭言◇ 捲土重来を期し闘う

高沢 寅男

社会党幹部、妥協・修正に動き出す ―トップ会談なるも、自民党一本化難しい

十一月二〇日、結成総会へ ―護憲の社会党を再生する全国ネットワーク―

資料1 「全国ネット」の運動のめざすもの(案)

資料2 「全国ネット」発足総会のご案内

資料3 「全国ネット」組織化のお願い

資料4 「消費税率引き上げ反対」等に関する申し入れ(「全国ネット」)

オジロ鷲は全国を駆けめぐる―音威子府、名寄への短い旅―

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.557(一九九三年十二月一日)

◇巻頭言◇ 勇氣ある七人の代議士につづけ

新々党へのめり込む「水曜会」―「全国ネット」に結集し党再生の運動を展開しよう

護憲の党のゆくえと「全国ネット」

―「護憲の社会党を再生する全国ネットワーク」結成総会―

資料1 当面の活動計画(全国ネット、一九九三・二・二〇)

資料2 「全国ネット」結成総会アピール

細川連立内閣からの離脱を―社会党は再建できる上野建―

さあ!反撃だ、勝利をつかもう!―「国労まつり」大成功―

◇投稿◇憂うべき社会党の現状

資料3 党中央本部に再考を求める決議(社会党世田谷総支部)

資料4 小選挙区並立制に反対し、日本の民主主義を守るアピール(鹿児島県民集会)

資料5 「小選挙区並立制」に反対する決議(社会党島根県本)

読者からのおたより

No.558(一九九三年十二月一日)

◇巻頭言◇ プロクラステスのベッド

「並立制」参議院での審議はヤブの中

―良識ある議員は拡大の傾向―

大量失業時代の到来①

―吹き荒れる首切り、労働組合は?―

投稿連合への指摘、厳しすぎませんか

「希望退職」を拒否し、一人首切り粉砕を

資料希望退職のお知らせ(NTT)

自然からの警鐘

本部は組合員の怒りの声を聞け―九月時短見直し憤りのなか実施―

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.559(一九九三年十二月二日)

◇巻頭言◇ コメ自由化、消費税率アップ、小選挙区制

小選挙区制導入と社会党のゆくえ

―解党必至、必要な「統一司令部」―

特集「護憲の社会党を再生する全国ネット」総会報告①

第一部記念講演司会者あいさつ社会党「再生」への組織つくる

開会あいさつ 細川の殿様の家来でいいのか

激励あいさつ「七人の侍」に勇気、つぶせる

記念講演政治改革と社会党

第二部「全国ネットワーク」結成総会

よびかけ人あいさつ

リ毒消しリのため、たちあがる時

よびかけ人あいさつ イデオロギー対峙で政治はきれいに

アドバイザーあいさつ小選挙区制は少数思想を排除

コント・小選挙区制

―忘年会やクリスマス会で上演しよう―

平岡 幸雄

関 晴正

國弘 正雄

高島 通敏

村山 喜一

寺田 熊雄

小林 孝輔